

国際
フォーラム

いま、アメリカの 子どもの本を 考える

アメリカ合衆国と日本の児童文学研究者が
アメリカ社会と子どもの本の関わりや
日本での読まれ方について講演し、対談します。

講師



Leonard S. Marcus
レナード・S・マーカスさん
歴史学者、児童文学評論家

イェール大学で歴史学、アイオワ大学で詩の学位を取得し、イリノイ大学、ブルックリン大学等で教鞭を取る。2007年、バンクストリート教育大学から名誉人文学博士号を授与される。全米図書賞ほか、多くの児童図書賞の選考委員を務める。

[主な著書]
『「おやすみなさい おつきさま」ができるまで』
瀬田貞二他訳 評論社 2001年
『英米絵本作家7人のインタビュー』
安藤紀子他訳 長崎出版 2010年
『伝説の編集者ノードストロムの手紙』
児島なおみ訳 偕成社 2010年
『アメリカ児童文学の歴史 - 300年の出版文化史』
前沢明枝監訳 原書房 2015年 等多数

講師



三宅 興子さん
児童文学研究者、絵本研究者

当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授。
大阪生まれ。日本イギリス児童文学学会会長、
絵本学会会長、日本児童文学学会理事などを
歴任。2010年～2015年6月まで大阪国際
児童文学振興財団理事長を務める。

[主な著書]
『イギリス児童文学論』
翰林書房 1993年
『イギリス絵本論』
翰林書房 1994年
『イギリスの絵本の歴史』
岩崎美術社 1996年
『ロバート・ウェストール』
KTC中央出版 現代英米児童文学評伝叢書
2008年 等多数

プログラム

- 「アメリカの子どもの本は何を語ってきたか」
講師：レナード・S・マーカスさん
通訳：前沢明枝さん(翻訳家)
- 「アメリカの子どもの本を私たちはどう読んできたか」
講師：三宅興子さん
- 対談 通訳：横山カズさん

平成28年

5月22日(日)

午後1:00～4:00

大阪府立中央図書館 2階大会議室

東大阪市荒本北1-2-1
近鉄けいはんな線荒本駅(地下鉄中央線)北西400m

対象：子どもの本に関心のある方ならどなたでも
定員：80名(申込先着順)
参加費：一人 1,000円
申込方法：HP、電話、ファックス

■主催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 ■協賛：サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、*子どもゆめ基金助成活動
■共催：日本イギリス児童文学学会 株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート、ムサシ・アイ・テクノ株式会社

 一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582
http://www.iiclo.or.jp/ E-mail:office@iiclo.or.jp